

## 組込みセキュリティの導入支援サービスを開始

株式会社 ヴィッツ（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：服部 博行、以下ヴィッツ）は、自らが事業管理法人を勤めている平成26～28年度 戦略的基盤技術高度化支援事業（中小企業基盤整備機構）「高度 IT 融合社会の安心安全を支える次世代自動車用セキュリティ・ゲートウェイ・ECU の開発」での組込みセキュリティの開発経験及びその活動の上流工程で作成したセキュリティコンセプト文書のドイツ TÜV SÜD（ミュンヘン）による技術レビュー経験を活かして、組込みセキュリティの導入支援サービスを2016年5月より正式に開始しました。

### 1. 支援内容

組込みセキュリティの導入を検討されている企業様に対し、教育、開発技術、車載セキュリティ技術、プロセス構築、組織運用の側面から支援致します。組込みセキュリティを導入する分野は、IT の分野と違いハードウェアのリソースが乏しく、その中で最適なセキュリティ対策をとらなければなりません。そのセキュリティ対策方法の支援をヴィッツは以下で紹介する内容を通じて行います。

#### 1.1 教育

以下に教育パッケージの事例を示します。お客様の御要望に応じてカスタマイズ致します。

分類	内容
Step1:イントロダクション	自動車セキュリティ概論
Step2:業界動向の解説	IEC 62443 の解説
	ISO 15408 の解説
	SAE J3061 の解説
	EVITA の解説
Step3:セキュリティ方法論	AUTOSAR の解説（特に SecOC）
	脅威分析方法の解説
	セキュリティアーキテクチャの組み方
	暗号鍵の管理方法の解説

#### 1.2 開発技術

組込みセキュリティ開発の各工程での固有技術について導入支援を行います。

工程	固有技術
SRS: Security Requirement Specification	脅威分析によるセキュリティ要求の導出
SAD: Security Architecture Design DSD: Detailed Software Design MIV: Module Implementation Verification	CWE(Common Weakness Enumeration)を用いた既知の脆弱性チェック
MIV: Module Implementation Verification	CERT-C、セキュアコーディング
SIT: Security Integration Test	Fuzz、Penetration を用いた脆弱性検証

#### 1.3 車載セキュリティ技術

車載セキュリティとして必要な以下の技術の導入を支援致します。

技術	内容
AUTOSAR	AUTOSAR SecOC
CAN 通信	メッセージ認証
鍵管理、鍵交換	SHE(Security Hardware Extension) ISO/IEC 11770-2
認証	ECU 相互認証

#### 1.4 プロセス構築

お客様の既存の開発プロセスとのギャップ分析を行い、プロセス構築のスタートなる SMP(Security Management Plan)の作成支援から開始し、各工程でのガイドライン作成を支援致します。

#### 1.5 組織運用

製品を如何に堅牢に作ろうとも、開発中や製品リリース後に暗号鍵が漏洩してしまえば、セキュリティは保てません。鍵管理の組織運用やインシデント発生時の対処を中心となっておこなう SIRT(Security Incident Response Team)の構築支援を行います。

## 2. 今後のサービス拡張について

ヴィッツでは、自動車業界向けの組込みセキュリティ支援から開始します。今後の IoT/CPS 社会では、莫大な数の組込み製品がネットワークにつながります。今後、ドローン、ロボットなど様々な製品に対し、ヴィッツの組込みセキュリティ技術を適用する支援を行い、安心、安全な社会作りに貢献します。

### お問い合わせ先

本発表に関するお問い合わせは、以下にお願いします。

株式会社ヴィッツ

総務部：脇田、佐藤      (技術的内容；組込セキュリティ PF 開発部：武田 )

TEL: (052) 220-1218